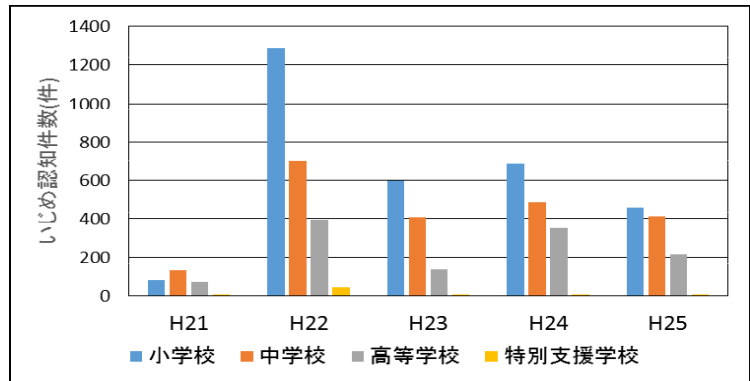


「いじめ」の調査結果（平成 25 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果より）

### 1 いじめ認知件数の校種別推移（平成 21 ~ 25 年度）

認知件数最多は、平成 22 年度で、小学校 1,291 件、中学校 696 件、高等学校 393 件、特別支援学校 42 件である。また、認知件数最少は、平成 21 年度で、小学校 77 件、中学校 130 件、高等学校 68 件、特別支援学校 6 件である。

過去 4 年間、全校種のおいじめ認知件数の合計は、年間 1,000 件以上報告されている。



### 2 いじめを認知した学校、いじめの認知件数等

いじめ認知件数は、小学校 461 件、中学校 413 件、高等学校 217 件。

現在の状況で「解消しているもの」の割合は、小学校 98%、中学校 99%、高等学校 86%。

	学校数	認知学校数	認知件数	解消しているもの	就学校の指定変更等
小学校	325(330)	132(152)	461(685)	452(670)	0(1)
中学校	171(171)	98(110)	413(487)	407(467)	1(2)
高等学校	87(83)	46(47)	217(352)	186(298)	0(0)
特別支援学校	27(26)	4(5)	6(7)	5(7)	0(0)
合計	610(610)	280(314)	1097(1531)	1050(1442)	1(3)

以下の全項目（ ）内は平成 24 年度

### 3 いじめの発見のきっかけ

小学校・中学校・高等学校ともに「アンケート調査など学校の取組」が最も多い。次いで、本人や保護者からの訴えが多い。

区分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見	学級担任が発見	67(115)	58(34)	3(19)	1(1)	129(169)
	学級担任以外の教職員が発見	7(16)	18(42)	11(9)	0(0)	36(67)
	養護教諭が発見	2(1)	1(1)	2(2)	0(0)	5(4)
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0(1)	0(2)	2(7)	0(0)	2(10)
	アンケートなど学校の取組により発見	163(198)	154(197)	148(231)	0(1)	465(627)
学校から	本人からの訴え	86(225)	94(124)	29(58)	1(1)	210(408)
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	92(85)	58(51)	10(19)	2(3)	162(158)
	児童生徒(本人を除く)からの情報	25(20)	19(23)	6(7)	2(1)	52(51)
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	14(21)	9(9)	5(0)	0(0)	28(30)
	地域の住民からの情報	1(0)	2(1)	0(0)	0(0)	3(1)
	学校以外の関係機関からの情報	4(3)	0(3)	1(0)	0(0)	5(6)
	その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計		461(685)	413(487)	217(352)	6(7)	1097(1531)

いじめ認知件数と一致

### 4 いじめの態様

小学校・中学校・高等学校ともに「冷やかし・からかい等」が最も多い。次いで「軽い暴力」、「仲間はずれ、集団による無視」が多い。

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい等いやなことを言われる	306(449)	299(325)	132(198)	3(3)	740(975)
仲間はずれ、集団による無視をされる	65(93)	58(73)	29(90)	1(0)	153(256)
軽い暴力	133(227)	74(98)	39(50)	3(5)	249(380)
強い暴力	17(24)	7(32)	15(31)	1(0)	40(87)
金品をたかられる	11(2)	5(12)	6(16)	0(0)	22(30)
金品を隠されたり、盗まれたりする	45(28)	35(34)	18(32)	0(1)	98(95)
いやなことごとをされたりさせられたりする	59(61)	54(60)	17(30)	2(0)	132(151)
パソコンや携帯電話等で誹謗中傷等をされる	14(3)	38(16)	27(38)	0(1)	79(58)
その他	21(19)	6(18)	16(10)	0(1)	43(48)
計	671(906)	576(668)	299(495)	10(11)	1556(2080)

(複数回答)